

真庭商工会 経営発達支援事業
平成 27 年度 事業評価委員会 議事録

1. 開催日時 平成 28 年 3 月 25 日（金）
13 時 00 分～13 時 47 分
2. 開催場所 真庭市鍋屋 6 番地
真庭商工会 2 階会議室
3. 出席者数 8 名（内事務局 4 名）
4. 出席者名（外部有識者）
中小企業診断士 児玉健治氏
真庭市産業政策統括監・産業政策課課長兼務 中井 靖氏
新庄村産業建設課課長 大野厚吉氏
（真庭商工会）
会長 山下 豊
5. 出席事務局 森本事務局長、笹尾支援 2 課長、小林指導員、葛尾指導員
6. 議事進行 森本事務局長
7. 議事の経過と結果

（開会）

定刻 13 時 00 分、事務局の森本事務局長（以下局長）が平成 27 年度経営発達支援計画 事業評価委員会の開会を告げた。

（会長挨拶）

山下会長より、この経営発達支援事業の認定において真庭商工会は先駆けて認定を受けた。モデルとなり得るように事業を進めていけるよう、本日は事業の評価をお願いしたい。と開会の挨拶があった。

（議事進行）

議事の進行については、局長の進行で次第に沿い議事に入った。

（協議事項）

協議事項 1 平成 27 年度真庭商工会経営発達支援計画事業評価検証

- ①平成 27 年度事業評価状況報告
- ②事業の評価・見直しについて

局長は、協議事項 1 の平成 27 年度事業評価状況報告について、事務局に説明を求めた。笹尾支援 2 課長は資料 1 に基づき説明を行った。

局長はその説明を受け、今回の事業評価の意味を簡素に説明し、今回取り組んだ事業の評価・見直しについて、出席者へ質疑を求めた。

出席者からの評価意見は以下のとおり。

<発言要旨>

児玉健治氏（中小企業診断士・一般社団法人岡山県中小企業診断士会会長）

この経営発達支援計画の認定商工会は全国的にも、岡山県下においても非常に数が少ない。そのため、お手本のない取り組みであるとも言える。

真庭商工会は、アクションプランをいち早く取り組んでおり、未だに継続している商工会は他にはないと認識している。よってその取り組みの延長に発達支援計画があると感じた。

実績においては、数値的にクリアしていると思うので、今後は少し高い目標値を立ててもらい、実行してほしい。

中井 靖氏（真庭市産業政策統括監）

真庭市の観点から真庭商工会には、事業者の窓口となってもらわなければならない。今後も地域活性化分野にも力を入れてほしい。

また、商工会では巡回指導を実施していると思うが、内容的にはどういった内容なのか。商工会が役に立っていないという声も聞く。

森本局長（真庭商工会）

主な相談内容は経営に係る一般的な内容が中心。そこから派生し、経営革新や、金融相談へ発展している。

大野厚吉氏（新庄村産業建設課課長）

目標の達成はクリアしている。単発でなく継続的に事業に取り組んでほしい。

議長は、出席者へその他意見はないか諮ったところ、特になく、出席者全員異議なく承認した。

③伴走型小規模事業者支援推進事業の活用による次年度事業計画について

続いて局長は、伴走型小規模事業者支援推進事業の活用による次年度事業計画について事務局に説明を求めた。事務局の小林指導員は資料2に基づき説明を行った。計画内容を簡素に説明した後、平成28年3月29日提出に向け進めたい旨を説明した。局長はその説明を受け、以下のとおり補足した。

平成28年度から当商工会本部内に中小企業診断士を設置（常駐）しながら専門的支援を行う計画である。また、創業支援において、新庄地区は新庄支所が窓口となって支援を実施していきたい。

なお、来年度からの発達支援計画の運営担当者として、以下の体制で取り組んでいきたいと考えている。

責任者：笹尾支援2課長

実行担当者：小林指導員

サポート担当者：葛尾指導員

局長は説明の後、出席者へ次年度事業計画についての意見を求めた。出席者からの意見は以下のとおり。

〈発言要旨〉

児玉診断士

この計画を見ると来年度から厚みのある事業を行っていくことになる。商工会の活用方法が分からない事業者が多いと感じる。一度商工会のサービスを活用すれば商工会の利用メリットを感じてもらえると思うので、今回の取り組みを活かし、巡回時にぜひPRを行ってほしい。現在公募中である持続化補助金はいいツールとなるのでは。

森本局長

今後の新たな取り組みとして、真庭商工会の封筒に事業者にとって役立つ施策や支援情報を印刷し、事業者の目につくように改良したい。

また、真庭商工会では年間2回会報誌を発行しているが、その中で、従業員やパート募集のような特設ページを1ページ設けて企業が求める安定雇用への対策にも尽力していきたい。

中井靖氏

真庭市としては、真庭商工会と連携して事業者への支援を行っていきたいと思う。事業によっては使い分けや連動をしていければいいと思う。

大野厚吉氏

新庄村としては、村独自の事業を作っていきたいと思う。

局長は、出席者へその他意見はないか諮ったところ、特になく、出席者全員異議なく承認した。

局長は、今後のスケジュールとして、平成28年10月頃に中間報告を行う予定である旨を説明し、議事の終了を告げた。

(開会)

すべての議事が終了し、13時47分に閉会した。